

令和5(2023)年11月11日(土)～12月10日(日)

岐阜市人権尊重推進強調月間に開催した主な催し

1

'23 人権の広場 12/10(日)メディアコスモスみんなのホール

第32回「人権の広場」を開催しました。

第1部では、令和5年度岐阜市小・中学生募集「人権に関するポスター」の入賞(最優秀賞、優秀賞)者への表彰及び作品の発表を行いました。



【最優秀賞】

黒野小学校 6年
高倉 ゆいさん

三輪北小学校 5年
伊藤 晶乃さん

岐北中学校 2年
金沢 葵さん

【優秀賞】

本荘小学校 6年
澤津 凜さん

黒野小学校 4年
加藤 愛さん

岐北中学校 2年
野々村 綾乃さん

厚見中学校 2年
伊藤 朱里さん

<参加者の声>

- 市長さんが受賞した子どもたちにそれぞれエールを贈られるのはとても素敵でした。
- 表彰と発表、素晴らしく、感動しました。
- 児童生徒の人権に関して素直な気持ちで向かっている姿勢が素晴らしい。地域でも広めたいと思います。



第2部では、「3.11 あの日から今日まで ～生き残った者として～」と題して、公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク 語り部・ガイド 三浦 浩さんにご講演いただきました。予測することが難しい自然災害に見舞われ、命への見方や考え方、まなざしのありようについて考える機会となりました。

<参加者の声>

- 被災された方のお話について、実体験を聞くことができました。他人事ではなく、自分事として考えていかなければいけないことに気付かされました。災害が起きた時に弱者の人権が脅かされるという事もあるので、日頃から意識を高めたいと思います。
- 話が具体的ですごく分かりやすかった。
- 被災された体験を通してのお話、今後の地域の防災対策に生かしていきたいと感じました。自分事としてとらえる、自分の命は自分で守る、大切にしていきたい。
- とても有意義な時間を過ごせました。…(省略)…目には見えない心ですが、自分を守りながら、人の人権も大切にしなければと感じさせられました。「自分の命は、自分で守る力を付ける」ことの大切さをつくづく思っています。自分で判断して、行動できる人にならねばと思います。



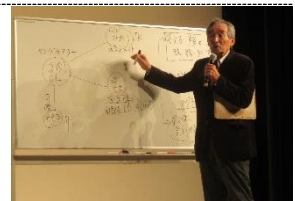
三浦 浩さん

岐阜市は、心に潜む「偏見」や「こだわり」をみつめ直し、差別をなくそうと努力する人権学習ボランティア団体「心の輪の会」と共催で、「心の輪講座 2023」を開催しました。

回	日時	演題・講師	参加人数
1	11月24日(金) 午後2時～ 午後3時30分	人権啓発ビデオフォーラム「あなたの笑顔がくれたもの ～周りから見えにくい障害・生きづらさ～」を見て コーディネーター:心の輪の会会長 市講師団 中村 正信さん	54
2	11月30日(木) 午後2時～ 午後3時30分	テーマ「高齢者の人権」～高齢者に優しい社会の実現について～ 講師:合同会社 A-assist 代表 介護福祉士・介護予防指導士 大野 孝徳さん	50
3	12月7日(木) 午後2時～ 午後3時30分	テーマ「多文化共生社会の実現へ ～違いを認め合う私たちに～」 講師:岐阜市外国籍児童生徒等対応指導員 宮 明さん・中川 愛美さん・津波 マルハさん	50

〈参加者の声〉

- 外見だけで、見た目だけで、人を判断してしまうことの恐ろしさを感じました。一人の人として向き合う、理解しようというところもちの人間でありたいと思います。
- 生まれてきた環境や一人一人ちがう経験をしてくるのだから、みんながみんなこうなんだ、こうでなきゃいけないという事はないと思います。(省略) 全く同じ考えという事は、まずないと思いますので、一人一人の違った考えで、いろいろたくさん素晴らしいことが生まれてくるように、よく話を聞くようにしているつもりです。(以降省略)
- 障がいについて、目に見える障がいと見えない障がい…何気ない勇気づける言葉を伝えても本人にしては傷つく言葉がたくさんある。自分も発している可能性もあるような気もしました。まだまだいろんな知識が必要と感じました。カミングアウトが出来る世の中になれば、もっと楽に生きられる…しかし、行動に移すのが難しい。
- とてもすてきなお話でした。本当に若い方に聞いてほしいなあと思います。分かりやすく、本当に聞いてよかったです。体操もとてもありがたい運動で早速、今日からやります。ありがとうございました。(以降省略)
- いろいろな虐待やそれを防ぐ要点などのお話を聞き、思い当たること、反省すべき点も感じました。もう一つ、介護する人の心のゆとりが大切だと感じました。家庭でも、ゆとりのある生活、和やかな人間関係があれば、虐待が大幅に減ることでしょう。(以降省略)
- 高齢者の人権、高齢者への虐待などの現状が良く分かりました。今後の自分自身への戒めとして、行動していきたいと思います。将来、自分自身が認知症になるのではないかと不安はありますが、健康で明るく、生きがいをもって暮らすよう努めていきたいと思っています。
- 多文化共生という前に異文化を理解する中で、それぞれが分かり合える社会を築いていくことが大切だと思いました。その積み重ねの中に、コミュニケーションが必要になるのだらうと思います。とても素敵な企画に感謝です。広げていきたいと思っています。
- 文化の違いはあって当然だと思います。どんなことでもそうですが、こうでなきゃダメ、こうしなきゃと決めつけることがいけないと思います。理解をしようという気持ちが大事だと思います。どうしたかと話を聞いたり、今は、街中にもいろいろな世界の食べ物もあるので、体験してみたりというのは、自分にとって勉強になると思います。お互いに話を聞くことが大切かなと思います。日本ではこんなんだけど、こういうときはどうするのと聞き合ったりできたら理解もできると思います。そういう機会も増やせたらいいなと思いました。これから先はもっといろいろな国とつながっていくと思うので、理解し合える時間を作っていけるといいと思います。



中村 正信さん



大野 孝徳さん



宮 明さん
中川 愛美さん
津波 マルハさん

3

人権パネル展 11/20(月)~23(木・祝) ぎふメディアコスモスドキドキテラス

より多くの市民の皆様へ、人権について感じ、考える機会を持っていただくため、「人権パネル展」を開催しました。

人権擁護委員、更生保護関係団体(岐阜山県保護区保護司会・岐阜市更生保護女性会・BBS会)、岐阜市障害者生活支援センター、風の芸術村などの人権関係団体の協力を得て、人権啓発に関わる展示を行いました。

11月20日(月)には「人権広報大使ミナモ委嘱式」が行われました。

会場に訪れた方々が、パネル1枚1枚真剣な表情で見て回られている様子から、さまざまな見方や考え方、感じ方を受け止めてみえるのではないかと感じました。



人権啓発フェスティバル IN ぎふ、12/9(土) マーサ 21

岐阜地方法務局、岐阜県人権擁護委員連合会、岐阜県、岐阜市から構成する岐阜県人権啓発活動ネットワーク協議会で「人権啓発フェスティバル IN ぎふ」を開催しました。

人権啓発に関する展示やグッズ配布、人権啓発に関するCM動画を放映しました。